

平成26年 和水町成人式

1月4日(土)三加和公民館で平成26年和水町成人式が開催されました。新成人132人のうち117人が出席し、友人や恩師との久々の再会を果たすと、会場では笑い声があふれました。

式典では、坂梨町長や町内小中学生から暖かいお祝いのメッセージが送られ、新成人の意見発表では、上原脩平さん(和仁)と上川彩乃さん(中路)が新成人を代表して、今の自分の現状と目指す目標、家族や身の回りの人達への感謝の言葉を発表しました。

式典後には、恩師からのメッセージや中学校時代の写真などをもとに、新成人代表者によって作成されたビデオレターが上映され、会場は大いににぎわいました。
大人の一步を踏み出した新成人の皆さんの、今後益々の活躍を期待しています。



1

実行委員として、ビデオレターの作成や当日の受け付けなどを頑張っていた皆さんです。



【三加和地区】
陶山 遥さん
上原脩平さん
石原良一さん
井島菜緒さん
浦部貴也さん
石原智加子さん



【菊水地区】
菊池晃弘さん
満原洸太さん
嶋田 誠さん
吉野友恵さん
石原奏子さん
東ひかるさん

新成人者意見発表 ～二十歳の想い～



これからの私たち

上川彩乃さん(中路)

私たち新成人は、小、中学校とこの和水町で仲間と共に過ごし、そして進学、就職とそれぞれの道を歩み、新しい社会に飛び込んでいきました。そこで、社会の厳しさを目の当たりにし、悪戦苦闘する毎日です。

私は、高校を卒業後に進学し、親元を離れ、勉強、陸上に追われる毎日を過ごしております。日々が充実していることはもちろん、あまりのハードさに、時にはくじけそうになることもあります。なんとか自分、そして仲間になげずに今を全力疾走できるのは、この和水の地で過ごした日々があったことだと感じるようになりました。

私の中学生時代を思い返すと、今の私を築き上げてきた何か大きなものがそこにあったと確信できます。陸上部の仲間と切磋琢磨しつつ、大自然や町民グラウンドという環境に恵まれた中で励んだ部活動、クラスで協力し合い、完成させた文化祭や体育大会、文武両道を掲げて日々机に向かい頑張った勉強、そして最後まで苦しみもがき、緊張して臨んだ受験。この時、ことあるごとに仲間との絆を深めあいつつ、様々な経験をし、素直な心で受け止め、そして自分の中に吸収できたことが、今の私を作っていると考えます。これは新成人を迎えた皆さんもきっと同じではないでしょうか。この地で育ったからこそ得られたものは多いことと思います。そして、20年間で培ったことを自分の将来や社会に活かすことが、これから私たちに求められることです。私としても、これからの人生の中で和水町に貢献し、恩返しできればと考えております。



感謝の気持ちを胸に

上原脩平さん(和仁)

仏教に「日常の五心」というものがあります。

「はい」という素直な心、
「ありがとう」という感謝の心、
「すみません」という反省の心、
「おかげさま」という謙虚な心、
「私がします」という奉仕の心。
「素直」さが無いと成長しないし、反省する気持ちがないと素直にはなれません。

「感謝」する事は素直さが無いと生まれぬ感情だと思いますし、何事にも必要な感情と思います。
「反省」して自分の行いを認める事でこれも成長に繋がりますし、人からも愛されるはず。また素直さが無いと、この感情は生まれぬと思います。

「謙虚」さが無ければ人に不快感を与え空気が悪くなります。
「奉仕」の心が無ければ人に喜ばれ感謝されるという事はありません。

私は信心深い訳じゃないですが、この心はもつともだと思えます。簡単のようで簡単に出来ないのが実情ですが。
私はこの五つの心を忘れずに、大人としての自覚を持ち、責任ある社会人として歩んでいくことをここに誓います。
最後に、この場をかりて両親にお礼を言わせてください。いつもは恥ずかしくて言葉に出して言えませんが、二十年間私をここまで育ててくれてありがとうございました。

迷惑や、心配ばかりかけてすみませんでした。
褒める時には、褒め。間違っている時には、叱り。子供のお手本となってくれていました。これからもたまに、迷惑をかけることもあると思いますが宜しくお願いします。
本当に、父 上原克彦、母 ちえの息子でよかったです。産んでくれてありがとう。



2



7

① 式典に参加する新成人たち
②～⑥ 友人との記念撮影でにぎわう新成人たち

⑦ お祝いの言葉を述べる菊水中の深浦和樹くん、平野櫻さんと春富小の大塚詩織ちゃん、牛島帆南ちゃん



6



3



4



5